

# 正社員雇用の推進

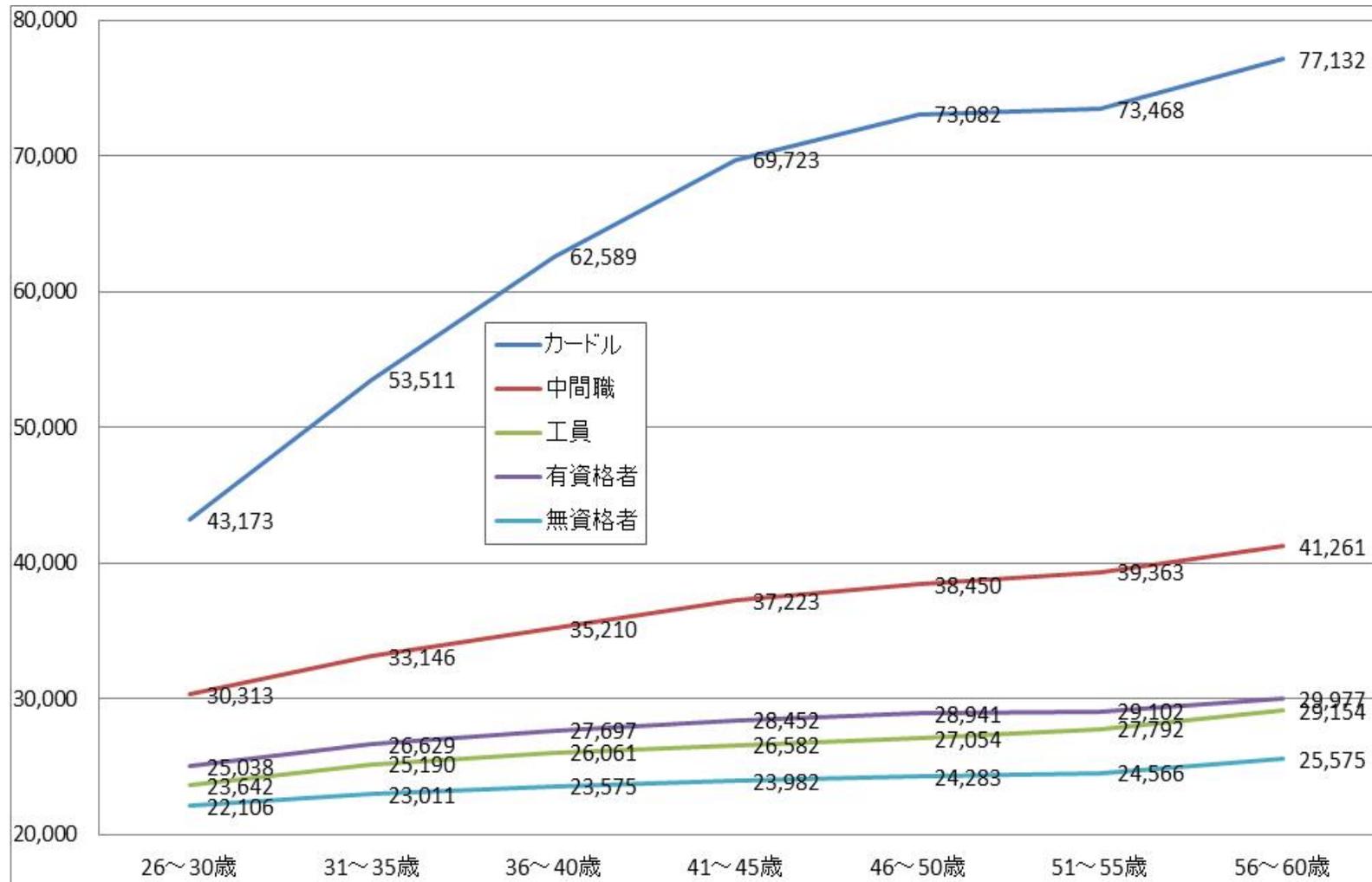
平成27年11月11日

株式会社ニッチモ 海老原 嗣生

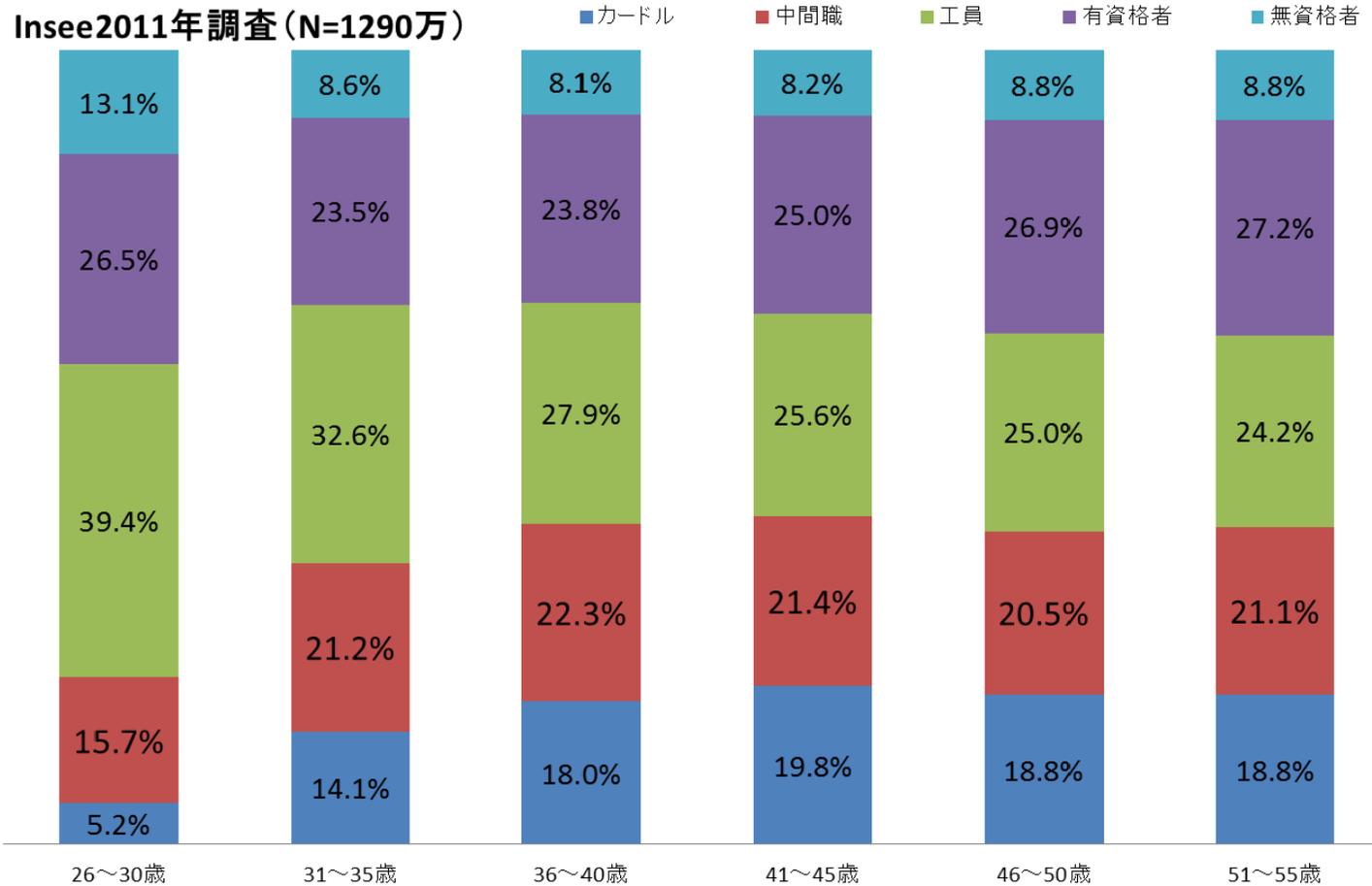
説明資料

# 欧州の給与体系(フランス)

職群別 × 年齢別年収(€) Insee,2011 Salaire brut en équivalent temps plein (ou brut annuel par année travail) (€)

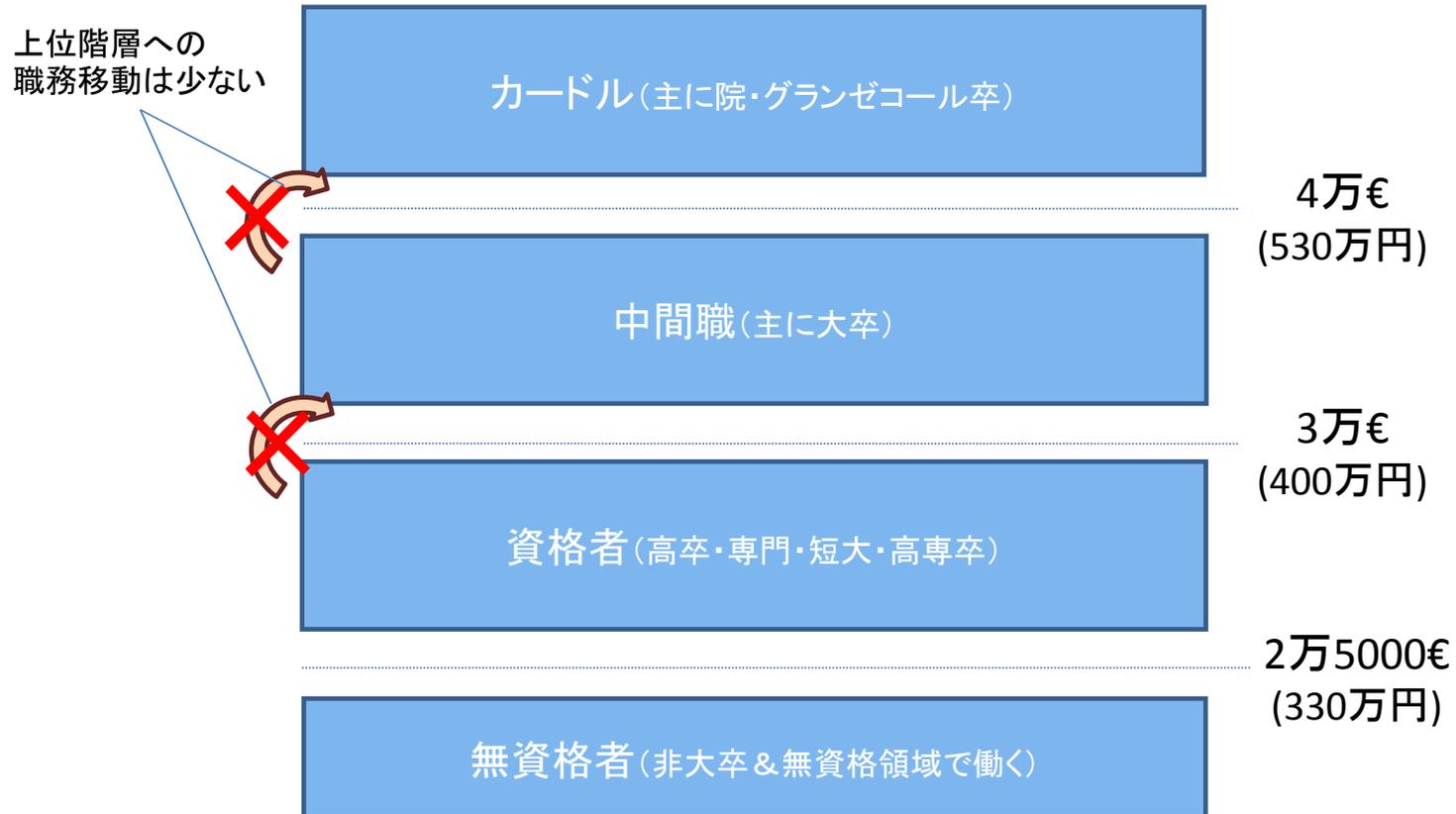


# 欧州の雇用区分別就業者数(フランス×フルタイマー)



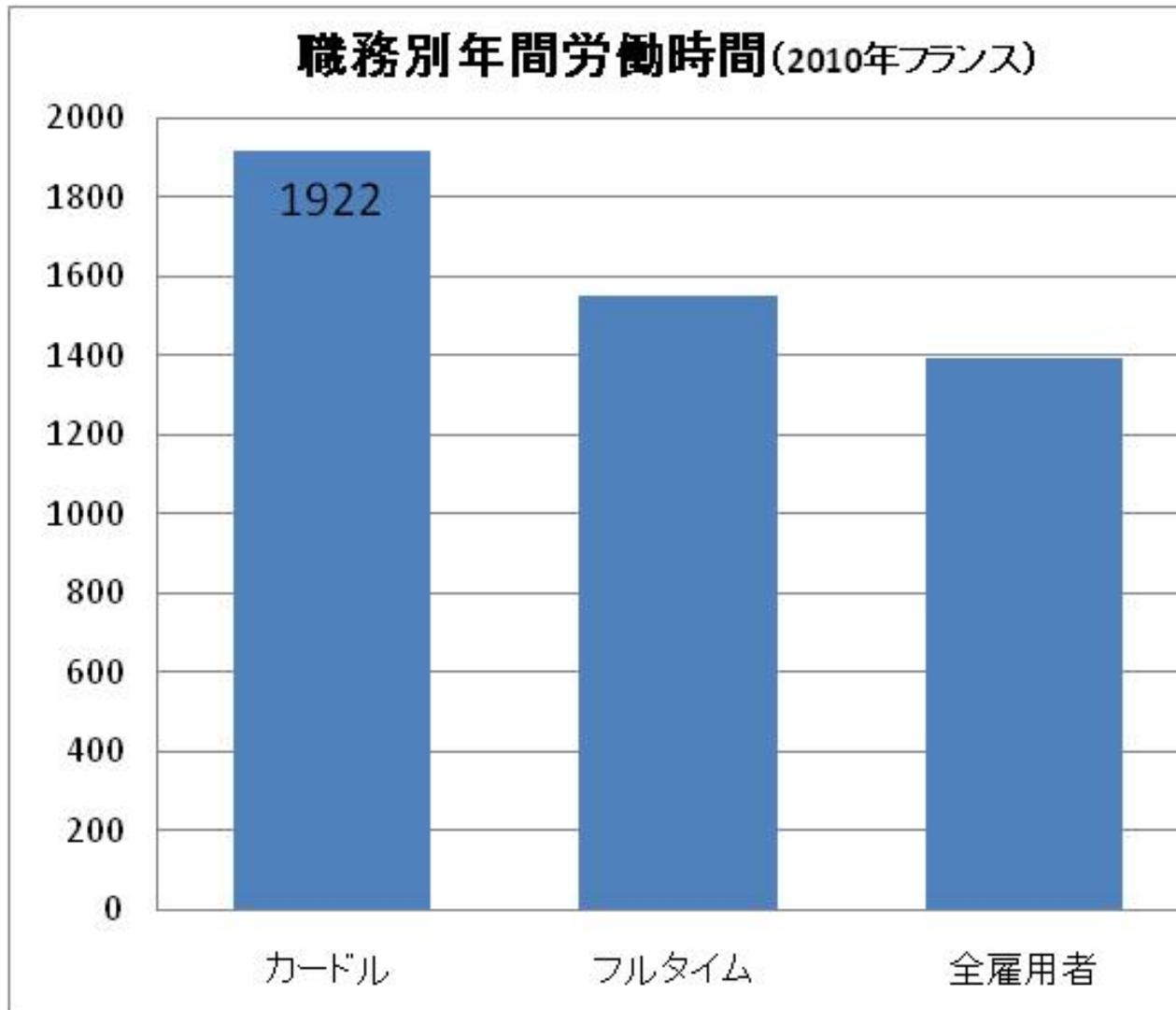
→30歳以降、階層間の移動はほとんどない。

## 欧州の職務と賃金(フランスベース)



⇒一生決められた仕事、同じ給与で働く

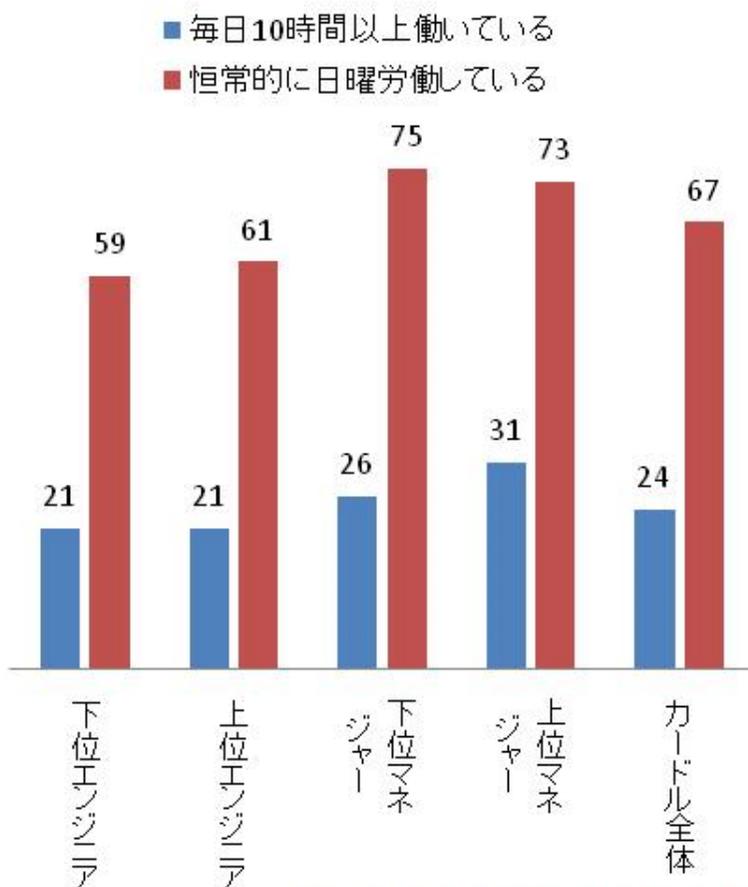
## 欧州のワークライフバランス①エリートは労働時間が長い



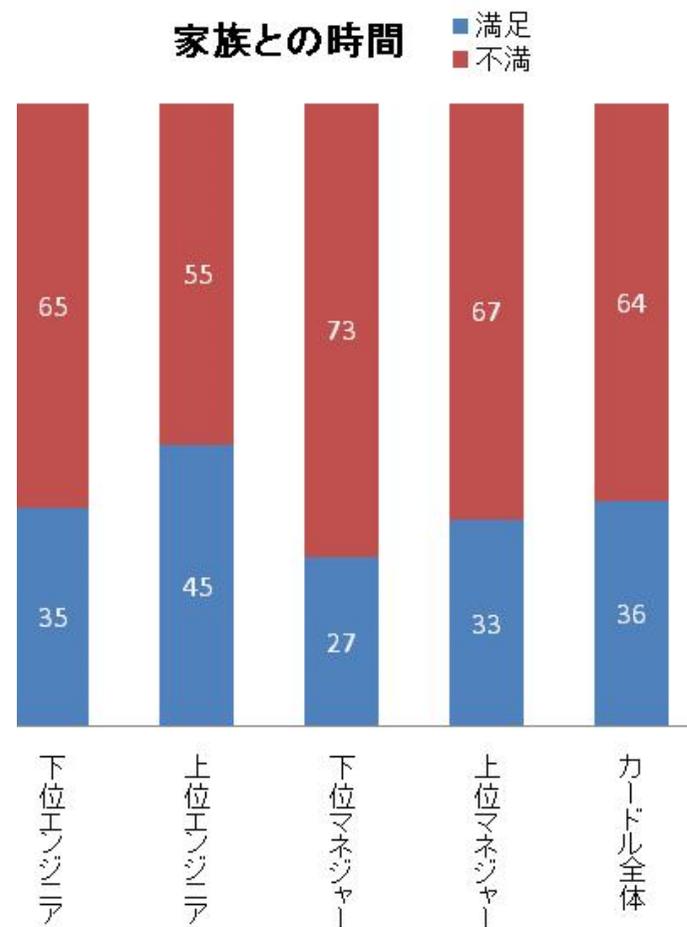
フランス民主労働同盟  
2012年資料

## 欧州のワークライフバランス②エリートはWLBが充実していない

フランスのエリート層の労働時間(%)



家族との時間



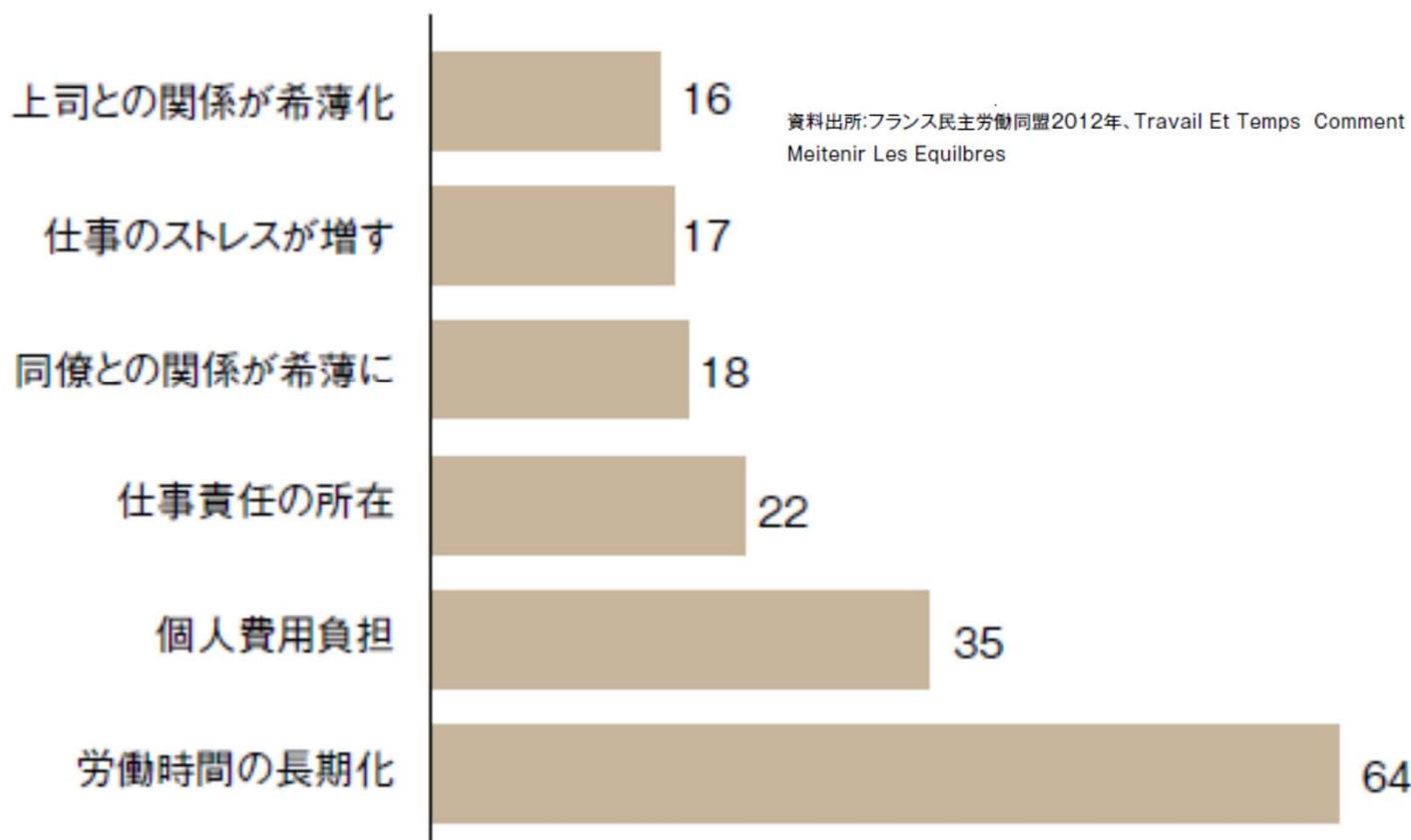
資料出所: フランス民主労働同盟2012年、Travail Et Temps Comment  
Meitenir Les Equilbres



フランスでもエリート階層は長時間労働が常態化

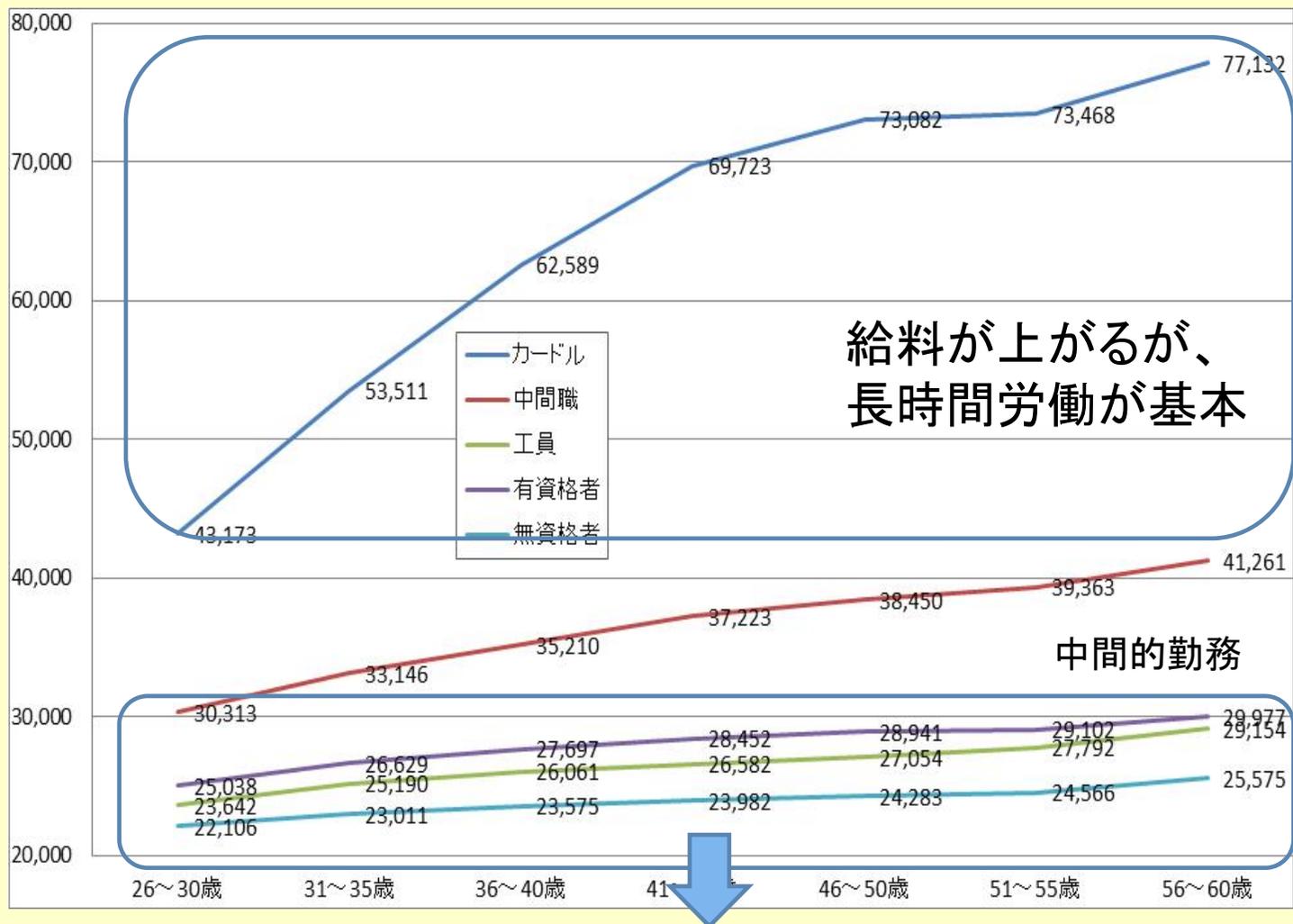
## 欧州のワークライフバランス③エリートは労働と余暇が未分離

### カードル層におけるテレワークの弊害(%)



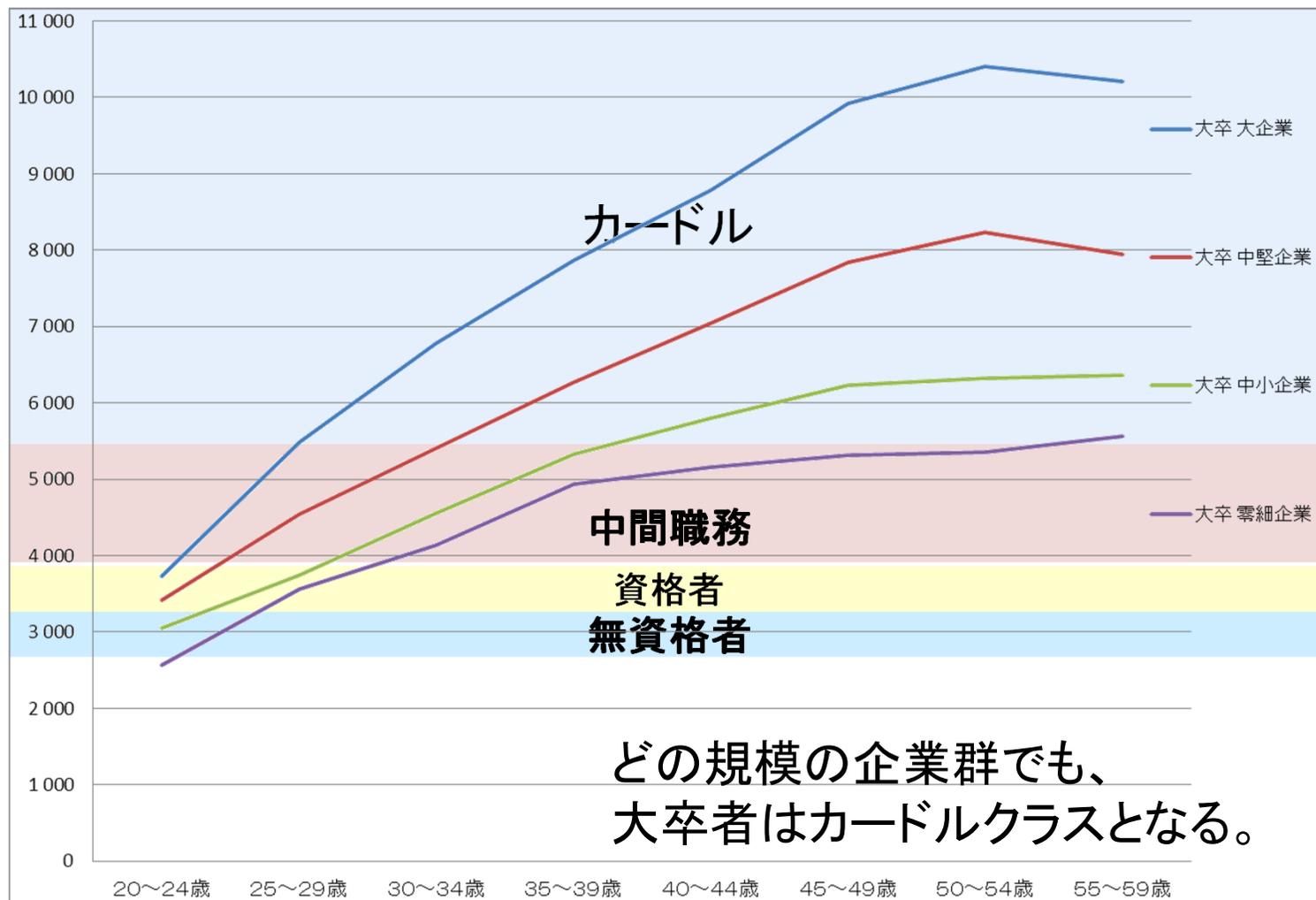
▶ テレワークで、日曜労働(前頁)、労働時間の長期化が起きている

## 欧州型雇用の結論

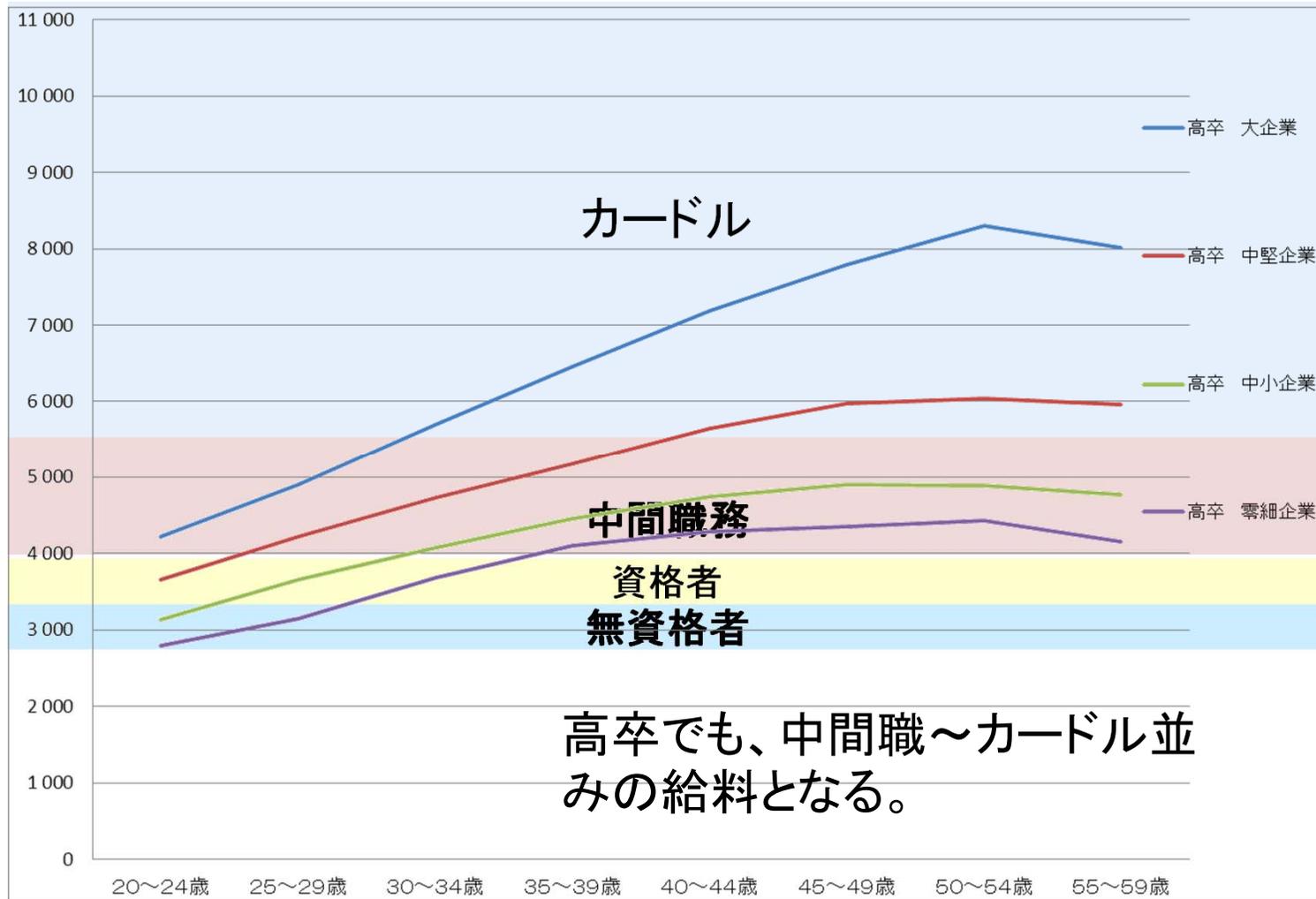


給料が上がらないが、WLB充実

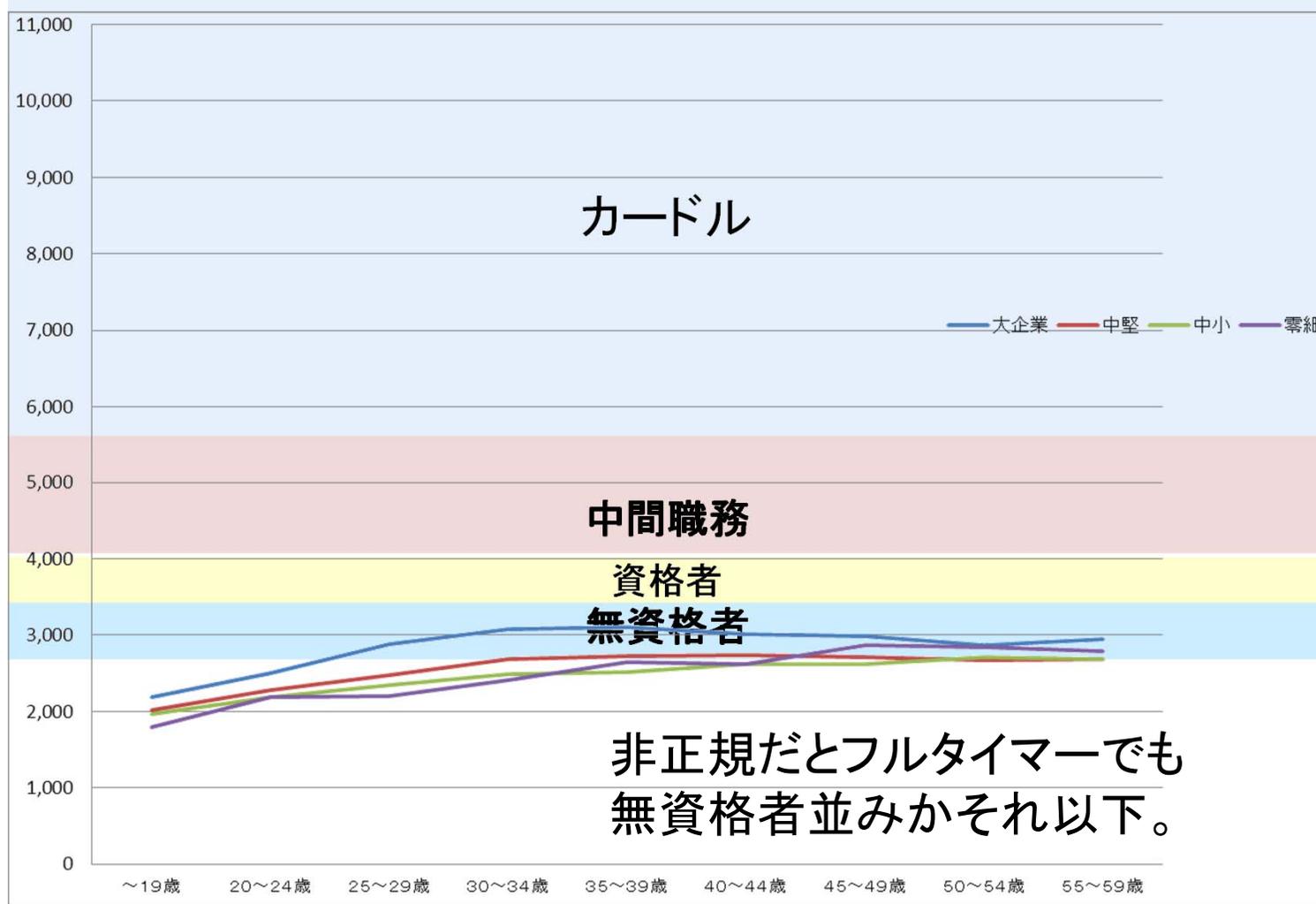
# 日本の給料 × 欧州との比較①大卒正社員(男子正社員/単位千円)



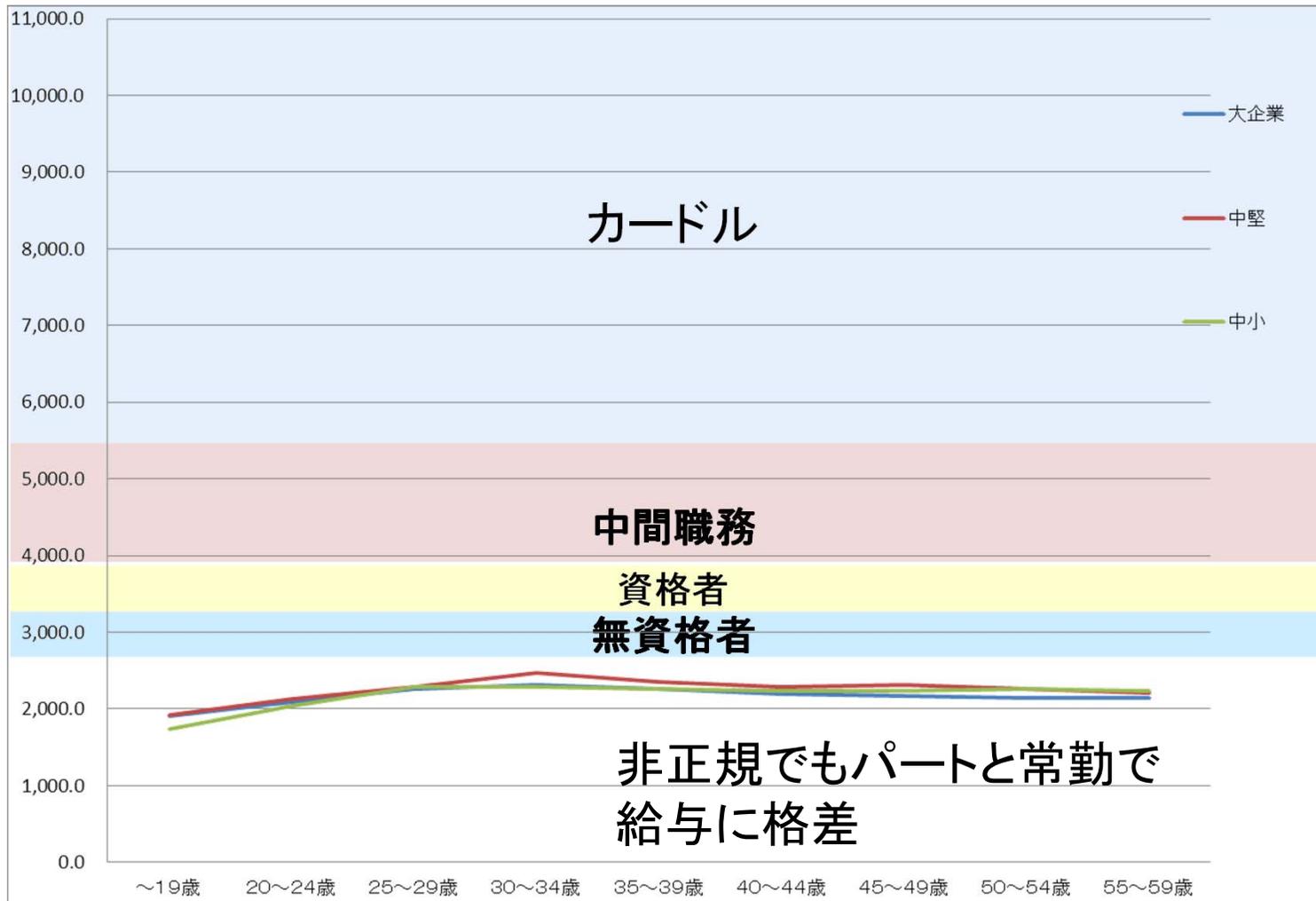
## 日本の給料 × 欧州との比較②高卒正社員(男子正社員/単位千円)



# 日本の給料×欧州との比較③非正規フルタイマー(単位千円)



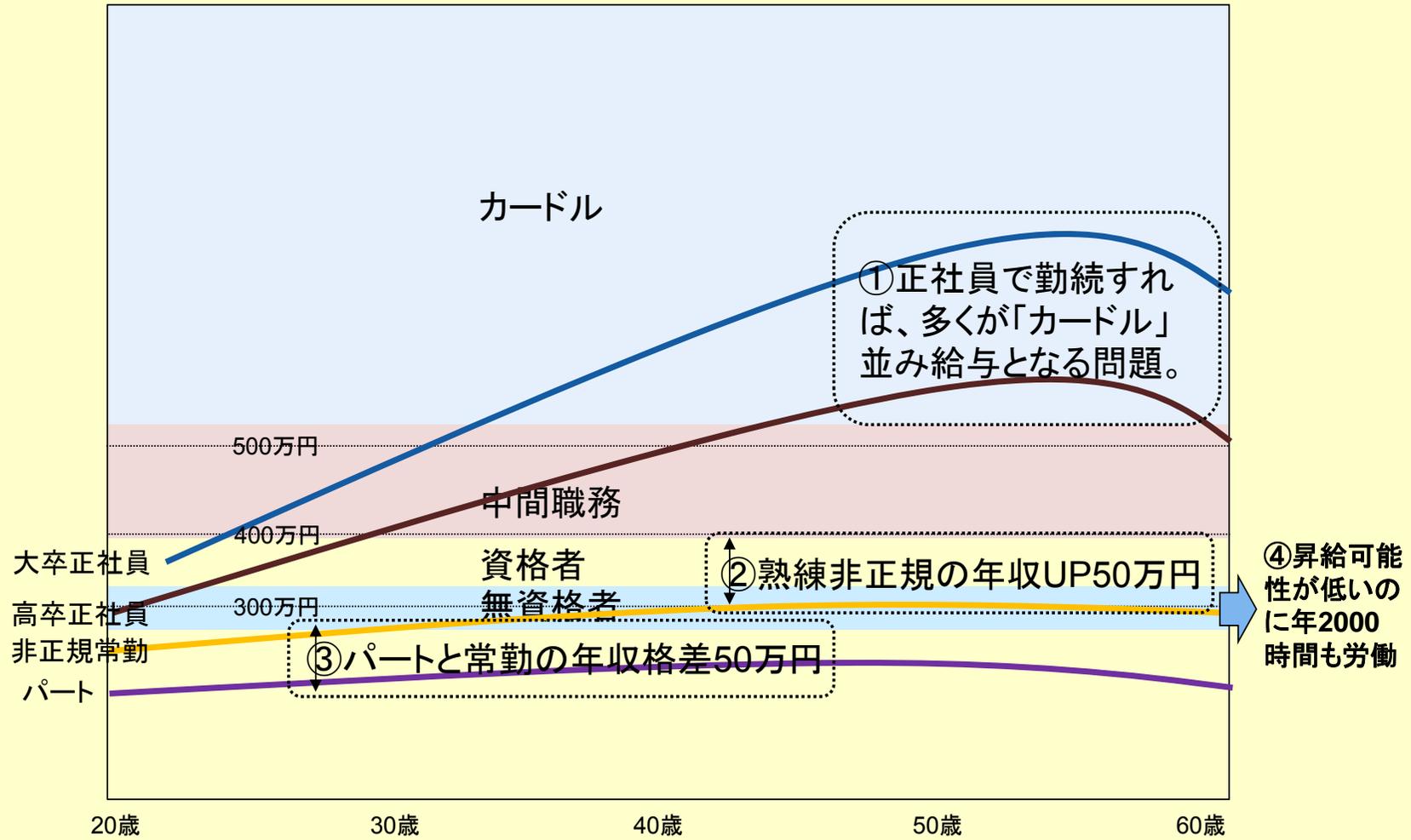
# 日本の給料×欧州との比較④非正規パート(※フルタイム勤務換算)



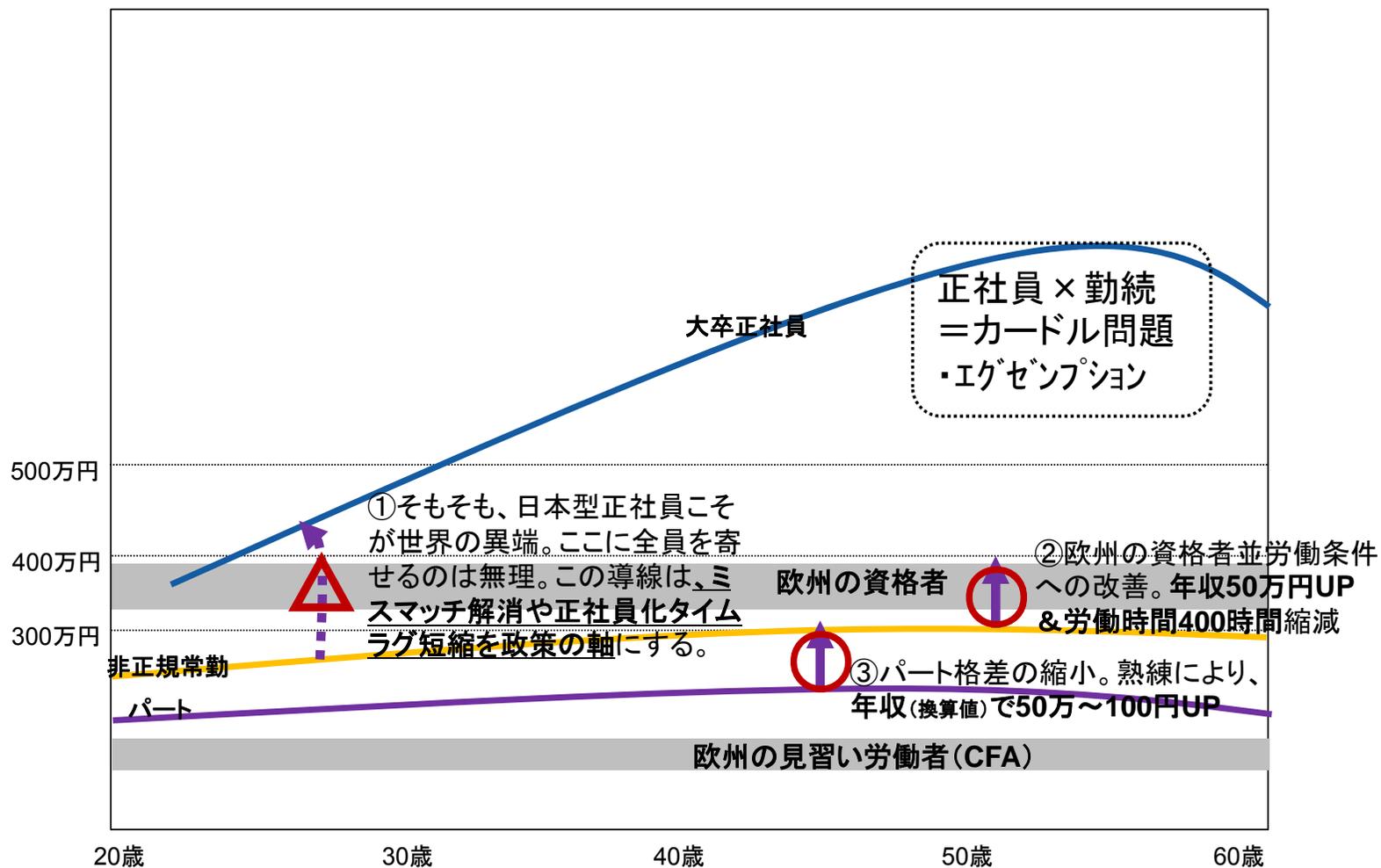
非正規でもパートと常勤で  
給与に格差

同規模企業のフルタイム非正規の労働時間をもとに、換算

# 日本型雇用の課題

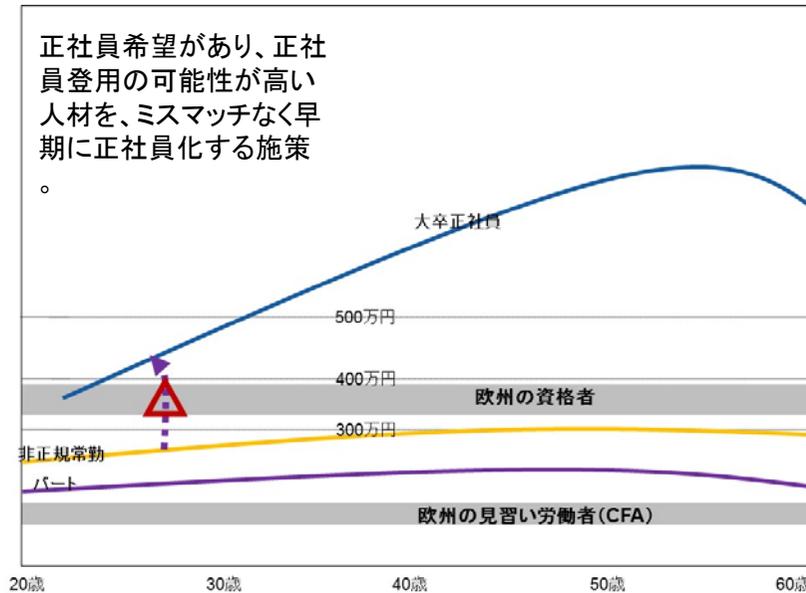


# 非正規労働に関する3つの政策基軸



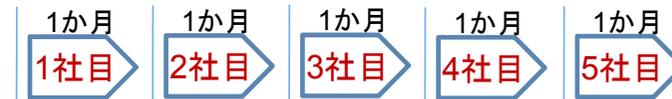
# 基軸①ミスマッチを解消 & 短期間に正社員化

正社員希望があり、正社員登用の可能性が高い人材を、ミスマッチなく早期に正社員化する施策。



現状の試用雇用の改善点①1社しか経験できない

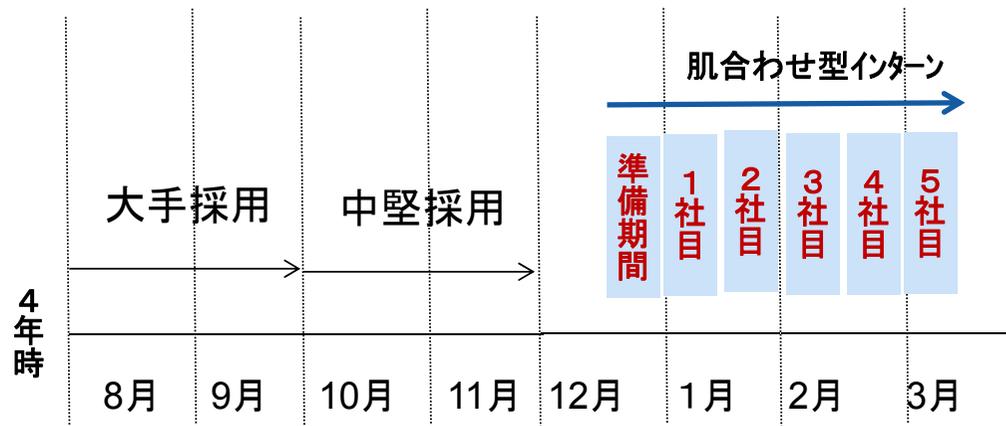
タイプの異なる数社を体験して比較可能に



※埼玉県の実業に参考事例あり

現状の試用雇用の改善点②既卒者が対象

新卒の就活インターンシップにも適用



## 欧州型インターンシップ

仕事ができないと雇ってもらえない。

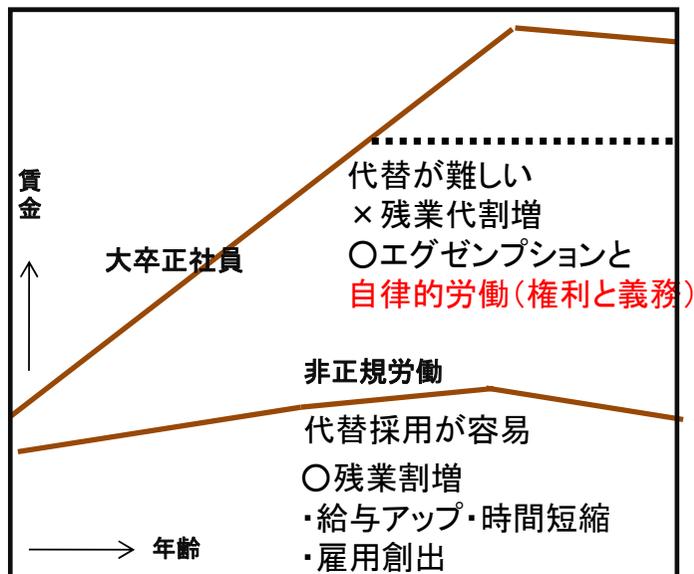
## 長期実務型インターンシップ

## 日本型インターンシップ

仕事は入社後に教える。ただし社風に合う人。

**短期肌合い合わせ型**(人物面のすり合わせ)

## 基軸②非正規労働者の給与UP+時間短縮



残業割増率を5割に設定

■ 大恐慌後に米国で公正労働基準法 (FALS) が生まれた背景

▶ 結果、残業を増やすよりも、雇用を増やすことが施行される。

▶ 残業が減り、雇用が増え、失業率が下がる。

▶ 代替が見つからない複雑な業務

▶ 雇用は増えず、残業代のみ増え、経営逼迫。

▶ エグゼンプションとして例外に。

企業規模を限定(50人未満?)して、非正規社員を対象に「残業割増率を50%にした会社」に助成金を支給する。

人材が逼迫している現在、残業代50%割増は、中堅→大手にも波及

個別企業労組が労使協議でそれを固定化??

労使協約締結企業に助成金(もしくは社会保険負担・税負担軽減)